
台湾初のIPPによる大規模太陽光発電所向けに「SOLAR WARE STATION」を納入 ーパワーコンディショナと周辺機器を一括収納したワンストップソリューションを提供ー

東芝三菱電機産業システム株式会社(以下、TMEIC)(社長:山脇 雅彦)は、アジア太平洋地域最大の再生エネルギーIPP(独立発電事業者)であるVena Energyの子会社、Vena Energy Taiwan Solar Energy Ltd.(台湾・台北市)*1 が台湾・嘉義県に建設した70MWの大規模太陽光発電所向けに、パワーコンディショナ(以下、PCS)と昇圧用変圧器、高圧遮断機などをパッケージにした「SOLAR WARE STATION」を納入しました。

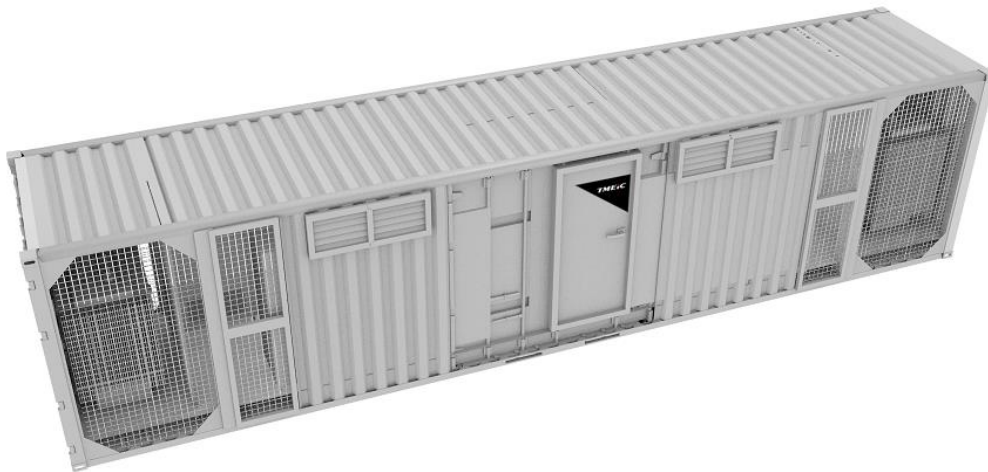
台湾では、総発電量に占める再生可能エネルギーの比率を2025年までに4%から20%に引き上げることが目標とされており、太陽光発電はその目標導入量が20GWに設定されています。本案件は台湾初のIPPによる大規模太陽光発電所となります。

今回採用された「SOLAR WARE STATION」は、PCSとその周辺機器をコンテナに一括収納したワンストップソリューションです。工場出荷前に各機器の組立・配線作業を完了させることによって品質を確保し、完成品としてそのまま輸送、現地据付が可能となることから建設コストの削減も図ることができます。

産業第三システム事業部長 澤田 尚正コメント:

「TMEICはグローバル市場での豊富な経験を生かして、これからもお客様のベネフィットの最大化に貢献していくとともに、成長が期待されている台湾の太陽光発電市場でNo.1のシェアを目指していきます。」

・納入した SOLAR WARE STATION の参考図(入力電圧:1000Vdc、出力容量:4.4MW)



SOLAR WARE STATION の特長

- ① PCS、昇圧用変圧器、高圧遮断器をコンテナに一括収納したワンストップソリューションによる現地作業簡略化と建設コスト削減
- ② メンテナンス性とシステム品質の確保
- ③ 高温地域や塩害地域など過酷な環境への適合性

【参考】 Vena Energy Taiwan Solar Energy による台湾・嘉義県の 70MW 太陽光発電所の上空写真



*1) Vena Energy Taiwan Solar Energy Ltd.はアジア太平洋地域最大の再生エネルギーの IPP(独立発電事業者)であり、合計 11GW の稼働中、建設中、計画中案件を有する、Vena Energy の子会社です。シンガポールに本社、また日本・韓国・台湾・インド・インドネシア・オーストラリア・タイ・フィリピンに拠点を置いています。Vena Energy はすべての太陽光・風力発電案件に対し、開発、設計、調達、工事管理、運営を手掛けます。

報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 経営企画本部 ブランド企画グループ <http://www.tmeic.co.jp/>
〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4319 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレータとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。